

令和 8 年度 国語科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 指定教科書

国語	1年	教科書名（出版社）	国語 1（光村図書）中学書写一・二・三年（光村図書）
		副教材	学習漢字ノート 1 年（浜島書店） 国語便覧（浜島書店） 積み上げ（明治図書） まんがで理解楽しい文法（東京法令） 光村の国語のワーク 1（光村教育図書）

3 学習到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。【知識・技能】
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。【思考力・表現力・判断力】
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

授業の進め方

- ・教科書を活用し、生徒との対話形式で進めていく。

思考力・判断力・表現力の高め方

- ・自分の考えや感想を言葉にして表現する機会（話し合い活動・発表）を多くもつ。

望ましい家庭学習

- ・日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、友人や家族と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。
- ・eライブラリを活用して復習をする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習...定期考査前に学習教室の実施
- ・タブレットの活用...eライブラリを活用して学習（予習・復習）を進める。 <知識・技能>

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
一学期	<p>朝のリレー(2)</p> <p>声を届ける 野原はうたう(3) 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう</p> <p>はじまりの風(4)</p> <p>言葉1 音声の仕組みや働き(1)</p> <p>漢字1 漢字の組み立てと部首(1) 漢字に親しもう1</p> <p>[聞く](1) 情報を聞き取り、要点を伝える</p> <p>話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする(4)</p> <p>ダイコンは大きな根?(2)</p> <p>ちょっと立ち止まって(3)</p> <p>情報整理のレッスン(1) 比較・分類</p> <p>情報を整理して説明しよう(4) 発見したことをわかりやすく書く</p>	<p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)</p> <p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)</p> <p>【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p> <p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・授業で行った課題 <p>< 思考力・表現力・判断力 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・授業で行った課題 <p>< 主体的に学習に取り組む態度 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動記録(振り返りシート等) ・ノート

<p>言葉 2 指示する語句と接続する語句 (1)</p> <p>空の詩 三編 (3) [書く] 詩の創作教室</p> <p>言葉 3 さまざまな表現技法 (1)</p> <p>比喩で広がる言葉の世界 (2)</p> <p>文法への扉 1 (1) 言葉のまとまりを考えよう 文法 1 言葉の単位</p> <p>語彙を豊かに 心情を表す言葉 (1)</p> <p>情報収集の達人になろう (3) コラム 著作権について知ろう</p> <p>読書を楽しむ (1)</p> <p>読書案内 本の世界を広げよう (1) コラム 本との出会い</p> <p>本の中の中学生 (1) あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い</p>	<p>【知・技】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ((1)エ)</p> <p>【知・技】 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなから、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p> <p>【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)</p> <p>【知・技】比喩などの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>【知・技】単語の類別について理解している。((1)エ)</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</p> <p>【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ)</p> <p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)</p> <p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ)</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</p>	
<p>二 学 期</p>	<p>大人になれなかった弟たちに…… (4)</p> <p>星の花が降るころに (5)</p>	<p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ)</p>

<知識・技能>
・定期考査
・単元テスト
・授業で行った課題
<思考力・表現力・判断力>

<p>項目を立てて書こう(3) 案内文を書く</p> <p>[推敲]読み手の立場に立つ(1)</p> <p>言葉4 方言と共通語(1)</p> <p>聞き上手になろう(2) 質問で話を引き出す</p> <p>漢字2 漢字の音訓(1) 漢字に親しもう2</p> <p>「言葉」をもつ鳥、シジウカラ(5)</p> <p>思考のレッスン1(1) 意見と根拠</p> <p>根拠を明確にして書こう(5) 資料を引用して報告する</p> <p>漢字に親しもう3(1)</p> <p>言葉の関係を考えよう(2) 文法2 文の組み立て 聴きひたる 大阿蘇(1)</p> <p>古典の世界 音読を楽しむ いろは歌(1)</p> <p>蓬萊の玉の枝 「竹取物語」から(4)</p> <p>今に生きる言葉(3) [書く] 故事成語を使って体験文を書こう</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ)</p> <p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ)</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【知・技】 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)</p> <p>【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)</p>	<p>・定期考査 ・単元テスト ・授業で行った課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ ・行動記録 振り返りシート等) ・ノート</p>
--	---	--

	<p>「不便」の価値を見つめ直す(4) [書く]筆者の主張に対する自分の意見を書こう</p> <p>思考のレッスン2 原因と結果(1) 漢字に親しもう4(1)</p> <p>[話し合い(進行)] 進め方について考えよう(1)</p> <p>話題や展開を捉えて話し合おう(4) グループで語り合い、ものの見方を広げる</p> <p>研究の現場によろこ(1) 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう</p>	<p>・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p> <p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p> <p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)</p>	
<p>三学期</p>	<p>少年の日の思い出(7) [書く]別の人物の視点から文章を書き換えよう</p> <p>漢字に親しもう5</p> <p>単語の性質を見つけよう(2) 文法3 単語の分類 二十歳になった日(4)</p> <p>構成や描写を工夫して書こう(5) 体験を基に随筆を書く</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ)</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割な</p>	<p><知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・授業で行った課題 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト ・授業で行った課題 <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録(振り返りシート等) ・ノート</p>

	<p>漢字 3 漢字の成り立ち (1)</p> <p>一年間の学びを振り返ろう (4) 要点を資料にまとめ、発表する</p> <p>ぼくが ここに (2)</p> <p>国語の力試し (3)</p>	<p>どを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>【知・技】</p> <p>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)</p> <p>・音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)</p>	
<p>書写</p>	<p>(年間 20 時間程度)</p>		
<p>1 学期</p>	<p>基本的な筆使いを覚え、字形を整えて書こう。(5)</p> <p>漢字と仮名を調和させて書こう。(3)</p>	<p>[知]点画の種類を確かめ、筆使いのポイントを理解して漢字を書いている。</p> <p>[技]始筆・送筆・終筆のリズムや字形を意識し、筆圧を調整して漢字を書いている。</p> <p>[知]仮名特有の柔らかい筆使いや点画のつながりを理解して書いている。</p> <p>[技]漢字とひらがなの大きさや配列を意識し、バランスよく書いている。</p>	<p>【技能・知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出作品 ・定期考査 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出作品
<p>2 学期</p>	<p>行書の特徴を知り、滑らかな筆使いで書こう。(3)</p> <p>書き初め (6)</p>	<p>[知]行書の特性や特徴を理解して書いている。</p> <p>[技]筆脈や筆圧の変化、点画の変化を意識して、行書を書いている。</p> <p>[知]書き初め用紙に書くときの姿勢や書き進め方とともに、課題文字の特徴を理解している。</p> <p>[技]学習してきた技能を生かして、配列を意識して書いている。</p>	
<p>3 学期</p>	<p>文字の歴史を探る。(1)</p> <p>硬筆 これまでに学習したことを生かして文字を書こう (2)</p>	<p>[知]さまざまな書体の歴史や書体の特徴を知り、身近な書体に目を向けている。</p> <p>[技]これまでに学習した楷書や行書の特徴や書き方、バランスを踏まえて硬筆で書いている。</p>	

令和8年度 社会科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

我が国の国土及び世界の諸地域に対する関心を高め、自分で調べたことや資料に基づき多面的・多角的に考察する力を養う。また、我が国の歴史についての大きな流れをつかみ、時代の繋がりを捉えながら学習する。

2 指定教科書

社会	1年	教科書名(出版社)	中学生の地理(帝国書院) / 新編 新しい社会 歴史(東京書籍)
		副教材	ビジュアル地理(東京法令出版) / みつけよう? と! 歴史資料(東京法令出版) / 3観点評価チェック15分社会1年(明治図書) / 社会の自主学习地理1(新学社) / 社会の自主学习歴史1(新学社)

3 学習到達目標

- ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に広い視野で物事を考えられる力を養う。
- ・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解する。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する。

4 学習の進め方

授業の進め方

- ・授業プリントやパワーポイント資料を活用し、単元に関連する資料を提示したり身近な事象を用いたりするなどして、学習のイメージがわくようにする。
- ・学習課題やねらいに対して、資料やグラフを活用して考える。
- ・自分の考えや導きだした答えを伝えたり、答えを導き出す過程で他の意見を聞いたりしながら理解を深める。

○タブレットの活用

- ・個人の意見の集約を行う際やグループでの意見交換を行う際などにクロームブックを活用する場面を設ける。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の 実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の 範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・単元テスト、単元レポート、提出物(ノート、長期休業中の課題など)

○単元テストについて

- ・単元の終わりに15分のテストを行う。

○その他のポイント

- ・単元レポートについては多面的・多角的に考察し、具体的に記入しましょう。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期	<p>【地理的分野】</p> <p>第1部 世界と日本の地域構成</p> <p>第1章 世界の姿(5)</p> <p>1 私たちの住む地球を眺めて</p> <p>2 世界のいろいろな国々の特徴</p> <p>3 緯度と経度</p> <p>4 地球儀と世界地図の違い</p> <p>第2章 日本の姿(5)</p> <p>1 世界のなかでの日本の位置</p> <p>2 日本と世界各地との時差</p> <p>3 日本の領域とその特色</p> <p>4 都道府県と県庁所在地</p> <p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 人々の生活と環境(8)</p> <p>1 世界のさまざまな生活と環境</p> <p>2 暑い地域の暮らし</p> <p>3 乾燥した地域の暮らし</p> <p>4 温暖な地域の暮らし</p> <p>5 寒い地域の暮らし</p> <p>6 高地の暮らし</p> <p>7 人々の生活と宗教の関わり</p> <p>【歴史的分野】</p> <p>第1章 歴史へのとびら</p> <p>1節 歴史をとらえる見方・考え方(5)</p> <p>2節 身近な地域の歴史(3)</p> <p>第2章 古代までの日本</p> <p>1節 世界の古代文明と宗教のおこり(7)</p> <p>人類の出現と進化</p> <p>古代文明のおこりと発展</p> <p>中国文明の発展</p> <p>ギリシャ・ローマの文明</p> <p>宗教のおこりと三大宗教</p>	<p><知識・技能></p> <p>世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳の索引や統計資料を活用したりしている。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>国名や国旗、国境線の色から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。</p> <p><知識・技能></p> <p>世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。</p> <p><知識・技能></p> <p>世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。</p> <p><知識・技能></p> <p>年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。</p> <p><知識・技能></p> <p>具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><知識・技能></p> <p>世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりなど、人類が生み出していったものを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p><知識・技能></p> <p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p> <p><思考力・表現力・判断力></p> <p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p> <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p> <p>・提出物</p> <p>・単元レポート</p>
2学期	<p>【地理的分野】</p> <p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>第1節 アジア州(9)</p>	<p><知識・技能></p> <p>多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p><知識・技能></p> <p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p> <p><思考力・表現力・判断力></p> <p>・定期考査</p> <p>・単元テスト</p>

	<p>第2節 ヨーロッパ州(8)</p> <p>第3節 アフリカ州(5)</p> <p>第4節 北アメリカ州(8)</p> <p>【歴史的分野】 2節 日本列島の誕生と大陸との交流(5) 旧石器時代と縄文時代の暮らし 弥生時代の暮らしと邪馬台国 大王の時代</p> <p>3節 古代国家の歩みと東アジア世界(9) 聖徳太子の政治改革 東アジアの緊張と律令国家への歩み 律令国家の成立と平城京 奈良時代の人々の暮らし 天平文化 平安京と律令国家の変化 摂関政治の時代 国風文化</p>	<p><知識・技能> 空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地域的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。 <思考・判断・表現> 空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU 統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><知識・技能> アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。 <思考・判断・表現> 輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p><知識・技能> 世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。 <思考・判断・表現> 北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。</p> <p><知識・技能> 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関りなどをもとに、諸資料から、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 <思考・判断・表現> 農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、生活の変化や大和政権による統一と東アジアとの関りについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p><知識・技能> 聖徳太子らの政治や大化の改新、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら律令国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 <思考・判断・表現> 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p>	<p><主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・提出物 ・単元レポート</p>
<p>3学期</p>	<p>【地理的分野】 第5節 南アメリカ州(7)</p> <p>第6節 オセアニア州(6)</p>	<p><知識・技能> 多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。 <思考・判断・表現> ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。</p> <p><知識・技能> オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結び付く産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。 <思考・判断・表現> オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</p>	<p><知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト</p> <p><思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・提出物 ・単元レポート</p>

<p>【歴史的分野】</p> <p>第3章 中世の日本</p> <p>1節 武士の政権の成立(6)</p> <p>武士の成長</p> <p>院政から武士の政権へ</p> <p>鎌倉幕府の成立と執権政治</p> <p>武士と民衆の生活</p> <p>鎌倉時代の文化と宗教</p> <p>2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開(9)</p> <p>中世のユーラシア大陸</p> <p>モンゴル帝国とユーラシア世界</p> <p>モンゴルの襲来</p> <p>南北朝の動乱と室町幕府</p> <p>東アジアとの交流</p> <p>産業の発達と民衆の生活</p> <p>応仁の乱と戦国大名</p> <p>室町文化とその広がり</p>	<p><知識・技能></p> <p>鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解している。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>武士の政治への進出と展開、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><知識・技能></p> <p>元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったこと、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたこと、農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
--	--	--

令和 8 年度 数学科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・数量や図形などについての基礎的な概念を理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2 指定教科書

数学	1 年	教科書名（出版社）	新編 新しい数学 1（東京書籍）
		副教材	数学リポート学習 1（正進社）

3 学習到達目標

- ・正負の数、文字式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・拡張した範囲の数の性質や計算について考察する力、文字を用いて数量の関係や法則を表現する力、図形の構成要素や構成に着目して図形の性質や関係を直感的にとらえる力、2つの数量の変化から関数関係を見出してその特徴を式・表・グラフで表す力、データの分布を考察して集団の傾向を読み取る力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。
【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・教科書に沿って講義形式で進めていく。

○タブレットの活用

- ・演習プリントの問題と答えの提示、講義スライドの提示などに活用する。
- ・eライブラリーを家庭学習に活用して予習と復習を行う。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

章末レポート・提出物(ワーク、レポート、長期休業中の宿題など)・学習カード・単元テスト(単元ごと)

○単元テストについて

単元の終わりに行います。

○その他のポイント

学習カードの評価は、単元の理解の深さを評価しています。まとめの項目を深く具体的に書きましょう。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1 学期	<p>0 章 算数から数学へ(4) 1 節 整数の性質(4)</p> <p>1 章 正負の数(26) 1 節 正負の数(4) 2 節 加法と減法(8) 3 節 乗法と除法(10) 4 節 正負の数の利用(2) 章末問題・まとめ(2)</p> <p>2 章 文字と式(19) 1 節 文字を使った式(8) 2 節 文字式の計算(6) 3 節 文字式の利用(3) 章末問題・まとめ(2)</p>	<p><知識・技能> ・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 <思考・判断・表現> ・自然数を素因数分解することで、問題を解決できる。</p> <p><知識・技能> ・正の符号や負の符号の意味を理解している。 ・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 ・正負の数の四則計算ができる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて処理することができる。 <思考・判断・表現> ・数の集合と四則計算の関係を表現できる。 ・四則計算や分配法則を活用してあらゆる問題が解ける。 ・正負の数を活用して様々な事象の問題を解決できる。</p> <p><知識・技能> ・文字式の積や商の表し方を理解している。 ・文字に数を代入して、文字式の値を求めることができる。 ・簡単な 1 次式の計算ができる。 <思考・判断・表現> ・1 次式のあらゆる計算や式の値を求めることができる。 ・数量の関係や法則などを、文字式で表したり、読み取ったりすることができる。 ・文字式を活用して、具体的な事象の問題を解決できる。</p>	<p><知識・技能> ・定期テスト <思考・判断・表現> ・定期テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察</p> <p><知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察</p> <p><知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察</p>
2 学期	<p>3 章 方程式(15) 1 節 方程式とその解き方(7) 2 節 1 次方程式の利用(6) 章末問題・まとめ(2)</p> <p>4 章 比例と反比例(23) 1 節 関数と比例・反比例(5) 2 節 比例の性質と調べ方(7) 3 節 反比例の性質と調べ方(6) 4 節 比例と反比例の利用(3) 章末問題・まとめ(2)</p> <p>5 章 平面図形(18) 1 節 図形の移動(6) 2 節 基本の作図(8) 3 節 おうぎ形(2) 章末問題・まとめ(2)</p>	<p><知識・技能> ・方程式、解、等式の性質、移項の意味を理解している。 ・等式の性質や移項を用いて方程式を解くことができる。 ・簡単な 1 次方程式、比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量関係に着目し、1 次方程式にできる。 <思考・判断・表現> ・あらゆる 1 次方程式、比例式が解ける。 ・具体的な場面の問題において、1 次方程式や比例式を活用して問題を解決できる。</p> <p><知識・技能> ・関数、座標の意味を理解している。 ・比例、反比例を理解している。 ・比例、反比例の性質を表、式、グラフに表すことができる。 <思考・判断・表現> ・比例、反比例の性質を活用してあらゆる問題が解ける。 ・比例、反比例の考えを用いて具体的な事象を考察できる。</p> <p><知識・技能> ・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 ・平面図形の用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図ができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 <思考・判断・表現> ・移動の性質や基本的な作図を活用して問題が解ける。 ・おうぎ形の性質を活用してあらゆる問題が解ける。</p>	<p><知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察</p> <p><知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察</p> <p><知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察</p>

<p>3 学期</p>	<p>6 章 空間図形(19)</p> <p>1 節 いろいろな立体(3)</p> <p>2 節 立体の見方と調べ方(9)</p> <p>3 節 立体の体積と表面積(5)</p> <p>章末問題・まとめ(2)</p> <p>7 章 データの分析と活用(12)</p> <p>1 節 データの整理と分析(5)</p> <p>2 節 データの活用(2)</p> <p>3 節 ことからの起こりやすさ(3)</p> <p>章末問題・まとめ(2)</p> <p>予備時間(4)</p> <p>問題演習</p> <p>調べ学習レポート</p>	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・立体図形の展開図や投影図について理解できる。 ・基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求められる。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間図形の性質を活用してあらゆる問題が解ける。 ・空間図形の性質を活用していろいろな図形の求積ができる。 <p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや相対度数を理解している。 ・累積度数、累積相対度数を理解している。 ・代表値や範囲の意味を理解している。 ・データを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率が分かる。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを必要な形にまとめ、表やグラフ、代表値からそのデータの分布の傾向を読み取り、考察することができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物、学習カード ・授業観察 <p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・章末レポート <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・章末レポート <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物、学習カード ・授業観察
-------------	--	--	--

令和 8 年度 理科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 指定教科書

理 科	1 年	教科書名（出版社）	新しい科学 1（東京書籍）
		副教材	理科の自主学習 1 年、作図・計算トレーニング、理科便覧、観点別評価ミニテスト CRE 理科 1 年

3 学習到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・1 単位時間ごとのねらいや学習活動を明確にして進める。
- ・「単元 2」「単元 3」「単元 4（第 1 章、第 2 章）」… A と「単元 1」「単元 4（第 3 章）」… B を並行して進める。A を週あたり 2.5 時間、B を週あたり 0.5 時間（隔週）で進めます。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・質問について問題や課題なども含めて、自分の考え（仮の答えをもつ）ということ意識させる。
- ・レポートなど、書き方がわからない場合は、参考になるものを「まず見る」という習慣を身に付けさせる。

○望ましい家庭学習

- ・理科の家庭学習は復習を中心に学習させる。第 1 学年の内容には、知識として覚えるべきことが数多くあり、授業中は分かったつもりでも、定着していないことがある。授業ノートなどを参考に、その日のうちに見直し、学習した内容を整理する習慣を身につけさせる。

○タブレットの活用

- ・教科書に付属している映像やシミュレーションソフトなどのデジタルコンテンツなどを積極的に利用することで、学習意欲をより刺激する資料の紹介や実際に操作することができるソフトの活用につなげることができる。
- ・復習の一環として、e ライブラリやまなびポケットなどを活用できるように知らせる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・レポート、提出物（ワーク、長期休業中の宿題など）、理科ノートの取り組み、単元テスト（章単元ごと）
技能テスト、実験・観察の授業のようす（安全チェック）

○単元テストについて

- ・章単元ごとに行い、1単元当たり3、4回程度行う。時間は1回あたり10分程度で行う

○その他のポイント

- ・単元ごとに課題レポートを作成する。学習した内容の中で、最も興味のある単元について調べ学習を行い、それを自らの視点でまとめる課題を作る（思考・判断・表現）(主体的な学び)

7 年間指導・評価計画

指導者 A

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1学期	単元 1 いろいろな生物とその共通点 第 1 章 生物の観察と分類のしかた(7) 第 2 章 植物の分類(8) 第 3 章 動物の分類(10)	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)	知識・技能 定期考査、単元テストの観点別得点 観察・実験の技能、および取組状況 課題に対する取り組み状況 授業への取り組み状況 思考・判断・表現 定期考査、単元テストの観点別得点 観察・実験のレポートへの記述内容 課題に対する結論や考察内容 授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 観察・実験における仮説設定 観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 授業への取組状況
2学期	単元 2 身の回りの物質 第 1 章 身の回りの物質とその性質(8) 第 2 章 気体の性質(5) 第 3 章	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)	知識・技能 定期考査、単元テストの観点別得点 観察・実験の技能、および取組状況 課題に対する取り組み状況 授業への取り組み状況 思考・判断・表現 定期考査、単元テストの観点別得点 観察・実験のレポートへの記述内容

	<p>水溶液の性質(6) 第4章 物質の姿と状態変化(6)</p>	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>水溶液について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p>	<p>課題に対する結論や考察内容 授業への取組状況</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 観察・実験における仮説設定 観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 授業への取組状況</p>
<p>3学期</p>	<p>単元3 身近な物理現象</p> <p>第1章 光の世界(10)</p> <p>第2章 音の世界(5)</p> <p>第3章 力の世界(8)</p>	<p>光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知)</p> <p>光について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>音について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の関係性や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p> <p>力のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)</p>	<p>知識・技能 定期考査、単元テストの観点別得点 観察・実験の技能、および取組状況 課題に対する取り組み状況 授業への取り組み状況</p> <p>思考・判断・表現 定期考査、単元テストの観点別得点 観察・実験のレポートへの記述内容 課題に対する結論や考察内容 授業への取組状況</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 観察・実験における仮説設定 観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 授業への取組状況</p>

令和 8 年度 音楽科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について、創意工夫を生かした実践的・体験的な活動をと
おして音楽に親しむとともに、よりよい音楽表現に必要な知識、技能を身に付ける。

2 指定教科書

音楽	三年	教科書名（出版社）	中学生の音楽（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社）
		副教材	マイソング 8 訂版（教育芸術社）

3 学習到達目標

- ・音楽に対する理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することで、音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにする。
- ・日本で長く歌われ親しまれている歌曲や日本の伝統的な音楽に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本の音楽のよさを味わい、愛着をもつ。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

教科書、ワークシートを用いて実践的・体験的な活動を中心に行うとともに、振り返りなどを記録に残す。

○タブレットの活用

必要に応じて授業内や家庭学習に活用し、表現活動、鑑賞活動に役立たせる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に 取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期考査以外の評価物

- ・創作作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・プリント（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・歌唱及び器楽の実技テスト

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1 学期	<p>オリエンテーションと声づくり(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・校歌 ・翼をください <p>混声合唱へのステップ(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その先へ <p>音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春 第1楽章 <p>オーケストラの響きに親しもう(2)</p> <p>混声合唱の響きを味わって歌おう(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリブ 夢の旅 ・合唱コンクール自由曲 	<p>(知)正しい発声法と歌詞の意味を理解する。 (技)明るく元気に歌唱表現する技能を身に付ける。 (思)自分なりに歌唱表現を工夫する。</p> <p>(知)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 (技)発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。</p> <p>(知)曲想とソネットの関わりと弦楽器について理解する。 (思)曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>(知)オーケストラの様々な楽器について理解する。 (思)楽器の音色や組み合わせなどから、響きや表現の特徴を感じ取る。</p> <p>(知)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 (技)発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 (思)どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・授業観察
2 学期	<p>混声合唱の響きを味わって歌おう(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリブ 夢の旅 ・合唱コンクール自由曲 <p>リズムと音の重なりを工夫してアンサンブル曲をつくらう(4)</p> <p>箏の音色に親しもう(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくらさくら ・六段の調 	<p>(知)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 (技)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 (思)どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(知)音素材や音の重なり方の特徴をイメージと関わらせて理解する。 (技)課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 (思)どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(知)音楽の特徴とその背景の文化や歴史との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 (技)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表す。 (思)どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p>	
3 学期	<p>日本の民謡の魅力を感じ取って聴こう(3)</p> <p>日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜辺の歌 <p>曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魔王 <p>曲想を生かした表現で歌おう(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空は今 	<p>(知)音楽の背景になる文化や歴史との関わりや、我が国の音楽の特徴について理解する。 (思)生活や社会における音楽の意味や役割などについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>(知)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 (技)発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 (思)どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(知)曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思)曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>(知)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 (技)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 (思)どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	

令和 8 年度 美術科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・美術作品や文化遺産など美しさや良さを感じ取ったり、制作の喜びを味わったりすることによって自分自身の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

美術	1年	教科書名(出版社)	光村図書
		副教材	ポスターカラーセット(ひかり工芸) アートグラス(ひかり工芸) 額縁(ひかり工芸)

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。
- ・主題に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的な美しさやよさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができるようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。

○タブレットの活用

- ・道具の使い方について、動画を通していつでも確認できるようにする。
- ・鑑賞の際、細部まで確認できるようにする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・ 作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・ アイディアスケッチ等のプリント（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・ 授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・ 毎授業取り組む作品制作

○その他のポイント

- ・ 補助プリントである作品管理表を使い、先を見通した作品制作の計画建て

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション「新生物発見」(1) ・ 素描「光と影」(8) ・ 色相環 ・ グラデーション ・ 溝引きの練習 ・ 漢字の基本書体 ・ ユーモアレタリング(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ガイダンス ・ 身近な筆記用具の鉛筆で、もののかたちや明暗を表すことができることを理解する。 ・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・ 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 ・ 色の三要素を理解する。 ・ ポスターカラーの使い方を理解し、活用できる。 ・ 明朝体・ゴシック体の違いを理解する。 ・ 創造的な文字を創ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> < 知識・技能 > ワークシート、定期考査、作品 < 思考・判断・表現 > ワークシート、定期考査、作品 < 主体的に学習に取り組む態度 > 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター制作 ・ アートグラス(1 8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意図に沿った資格伝達デザインができる。 ・ 創造的なイラストレーションを絵画の基本と素材を意識した作品制作を行うことができる。 ・ 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> < 知識・技能 > ワークシート、定期考査、作品 < 思考・判断・表現 > ワークシート、定期考査、作品 < 主体的に学習に取り組む態度 > 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 額縁制作(1 2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活を豊かにするデザインを創ることができる。 ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活度に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> < 知識・技能 > ワークシート、定期考査、作品 < 思考・判断・表現 > ワークシート、定期考査、作品 < 主体的に学習に取り組む態度 > 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限

令和 8 年度 保健体育科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

各種目の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な技能を身に付ける。運動や健康について課題を発見し解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。生涯運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく、豊かな生活を営む態度を養う。

2 指定教科書

保健体育	1年	教科書名（出版社）	新編 新しい保健体育（東書）
		副教材	中学保健学習ノート 1～3年（正進社） ステップアップ中学体育（大修館）

3 学習到達目標

- ・心と体の健康増進に向けて基本的な技能を身につけることができる。
- ・自己の課題や解決策を考え判断し、他者に伝えることができる。
- ・公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、お互いを認めることへの意欲と健康・安全に留意して最善を尽くすことができる。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・授業規律（集合、整列、号令）などを大切にし、集団での行動を常に意識し、授業に取り組む。
- ・グループ学習等の話し合い活動に取り組み、学習カードによる授業の振り返りや技能の考察を丁寧に継続する。
- ・定期テスト前には、学習カードや保健授業を振り返り、各種目、各単元のルールやポイントを復習する。

○タブレットの活用

- ・グループ学習やペア学習の中で、動作を撮影し合い、自分の動きや仲間の動きを分析できるようにする。
- ・見本の動作を事前に確認することで、技等のポイントをつかみやすくする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・学習カード（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）・スキルテスト（知識・技能）
- ・ゲーム中の動きや練習中の動きの様子（知識・技能）・仲間との関わり方、安全への配慮等の様子（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・スキルテストを各単元にて実施

○その他のポイント

- ・学習カードを用いて、知識や技術の定着を図ります。授業内容をよく振り返り、記入してください。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1 学期	<p>体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の動きを高める運動(2) ・表現活動、集団行動(2) <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走(2) ・リレー(2) <p>器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動・鉄棒(6) <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロール(4) ・平泳ぎ(4) <p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防(5) 	<p>ねらいや体力に合わせて運動を組み合わせている。「思考・判断・表現」</p> <p>滑らかな動きで速く走ることができる。「知識・技能」 スムーズにバトンを渡すことができる。「知識・技能」</p> <p>基本的技能を習得し、学習したものの具体例を挙げている。「知識・技能」 構成に適した組み合わせを見付けている。「思考・判断・表現」</p> <p>特性に応じた泳法を身に付け、学習したものの具体例を挙げている。「知識・技能」</p> <p>事象や情報を基に課題を発見し、科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりすることができる。「思考・判断・表現」 発生要因および生活習慣と健康について、理解できるようにする。「知識・技能」</p>	<p>< 知識・技能 > 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト</p> <p>< 思考力・表現力・判断力 > 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト</p> <p>< 主体的に学習に取り組む態度 > 授業観察 提出物</p>
2 学期	<p>体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の動きを高める運動(4) <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走(6) <p>球技(ネット型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール(8) (ゴール型) ・ハンドボール(8) <p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的なリズムのダンス(7) <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走(6) 	<p>分担した役割を果たそうとし、役割に応じた活動の仕方身に付けている。「思考・判断・表現」</p> <p>勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとしている。「思考・判断・表現」</p> <p>基本的技能を習得し、運動の行い方のポイントを見付けている。「知識・技能」 課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。「思考・判断・表現」</p> <p>基本的技能を習得し、ゲーム内で特性にあった動きをしている。「知識・技能」 クラスの課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。「思考・判断・表現」</p> <p>リズムの特徴をとらえ全身で踊るための動きができる「知識・技能」</p> <p>コーチ役としての役割を果たしている。「思考・判断・表現」 基本的技能を習得し、自己に適した走り方を選んでいる「知識・技能」</p>	<p>< 知識・技能 > 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト</p> <p>< 思考力・表現力・判断力 > 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト</p> <p>< 主体的に学習に取り組む態度 > 授業観察 提出物</p>

	<p>保健 ・心身の機能の発達と心の健康（9）</p>	<p>課題を発見し、解決方法を考え適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。「思考・判断・表現」</p> <p>心身の機能の発達と心の健康について理解し、ストレスへの対処の仕方を身に付けることができるようにする。「知識・技能」</p>	
<p>3 学期</p>	<p>武道 ・柔道（7）</p> <p>球技（バレーボール型） ・バスケットボール（10） （ゴール型） ・ラグビー（10）</p> <p>体育理論 運動やスポーツの多様性（3）</p>	<p>健康・安全に留意している。「思考・判断・表現」 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。また、学習したものの具体例を挙げている。「知識・技能」</p> <p>課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。「思考・判断・表現」 基本的技能を習得し、ゲーム内で特性にあった動きをしている。また、学習したものの具体例を挙げている。「知識・技能」</p> <p>運動やスポーツが多様であることについて、理解できるようにする。「知識・技能」 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、より良い解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。「思考・判断・表現」</p>	<p>< 知識・技能 > 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト</p> <p>< 思考力・表現力・判断力 > 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト</p> <p>< 主体的に学習に取り組む態度 > 授業観察 提出物</p>

令和 8 年度 技術科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

日常生活で活用している技術を理解し、自分の身の回りにある問題に気づき、解決する力を育むため、今年度は材料と加工の技術による問題解決、およびネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツによる問題を解決する力と技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 指定教科書

技術科	1年	教科書名(出版社)	技術・家庭 技術分野 開隆堂
		副教材	合板 DL、プログラミング教材

3 学習到達目標

- ・生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらにかかわる技能を身に付ける。
- ・生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらにかかわる技能を身に付ける。

4 学習の進め方

・授業の進め方

教科書、ワークシートを用いた授業を行う。

・思考力・判断力・表現力の育成方法

ワークシートに、自分の考えを記入し、課題によっては周りの人と話し合いの時間を設ける。

他の人の考えを確認することで、自分の考えを深めていく。

・望ましい家庭学習

授業の中で課題を提示するので、家庭生活の中で考える。

5 評価計画

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

分) 【評価基準】

【評価基準】

【評定への配

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、遅れを感じる生徒には必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 必要に応じて授業の中で使用する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期	ガイダンス(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術(11) ・身の回りにある材料と加工の技術(1) ・木材、金属、プラスチックの特性(1) ・科学的な原理・法則の理解(4) ・CAD(2) ・問題解決(1) ・問題発見、課題設定(1) ・設計(1)	「知識・技能」 ・材料と加工の技術が生活や社会で果たしている役割について理解できる。 ・材料に適した加工方法について理解できる。 「思考・判断・表現」 ・加工の方法について問題を見出して課題を設定できる。 ・材料と加工の技術での学習から、解決策を構想し、考察できる。	知識・技能 作品 レポート ワークシート 定期考査 思考力・判断力・表現力 ワークシート レポート 定期考査
2学期	材料と加工の技術による問題解決(15) ・製作(13) ・技術の概念の理解(1) ・新たな技術の視点(1)	「知識・技能」 ・製作に必要な図をかくことができる。 ・木材の組み立てと仕上げをする工具や機器の使い方を理解している。 ・正確に組み立てができる。 「思考・判断・表現」 ・組み立ての方法について問題を見出して解決策を構想し、考察している。 ・新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。	主体的に学習に取り組む態度 作品 行動記録 ワークシート
3学期	情報に関する技術(9) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラムによる問題解決(9) ・双方向性のあるコンテンツ ・問題の発見と課題の設定 ・コンテンツの構想 ・コンテンツのプログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正	「知識・技能」 ・情報を利用するための基本的な仕組みを理解できる。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングについて理解できる。 「思考・判断・表現」 ・プログラミングによる解決策を構想し、考察している。 ・問題を見出して課題を設定している。 ・改善・修正できる。	

令和 8 年度 家庭科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付ける。

2 指定教科書

家庭科	1年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
		副教材	ワークノート 食生活（地域教材社）

3 学習到達目標

- ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。【知識・技能】
- ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】
- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

授業の進め方

本時のねらいを明確にし、見通しをもたせた授業展開とする。デジタル教材、視覚的資料を用いて、基礎・基本の定着を目指す。実習では、安全に取り組むことが大切であり、実生活において活用できる力を身に付ける。

思考力・判断力・表現力

ワークシートに、自分の考えを記入した後、周りの人と話し合いをする時間を設ける。他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めていく。

望ましい家庭学習

授業での学びを自分の生活の中で活用し、よりよい生活の実現を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

定期テスト以外の評価物

実技テスト、ワークシート、課題の記入状況。授業への取り組み方、実習に安全に取り組む態度など。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期	<p>A 家族・家庭生活 自分の成長と家族・家庭生活(3) ・家庭分野ガイダンス 1 今の自分とこれから 2 家庭のはたらきと家庭の仕事 3 様々な家族・家庭</p> <p>B 衣食住の生活(食生活) 1 人間にとっての食事 ・食事の役割と健康によい食習慣(2) 2 食品と栄養素(3) ・食品と栄養素をつなぐ ・栄養素のはたらき 3 中学生に必要な食事(2) ・中学生の発達と必要な栄養 ・目で見て判断～栄養バランス～</p>	<p>知識・技能 ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解し、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・家庭には様々な活動があることと、家庭の主な機能について理解している。 ・家庭生活を支える活動とそれを支える社会の仕事やしぐみの学習を通して、家庭生活と社会のつながりを理解している。 思考・判断・表現 ・家族との関わりについて解決策を構想し、実践を評価・改善したりしている。</p> <p>知識・技能 ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 思考・判断・表現 ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。課題を解決する力を身に付けている。 ・中学生の1日分の献立について問題を見い出して課題を設定している。</p>	<p>知識・技能 定期考査 実技テスト ワークシート</p> <p>思考・判断・表現 定期考査 ワークシート</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み方 ワークシート</p>
2 学期	<p>4 日常食の調理(17) ・食品と調理 ・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 ・食品の安全と情報 ・調理の計画 ・調理の基本 ・肉の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理</p>	<p>知識・技能 ・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品や加工食品の選択について理解をしているとともに適切に選択できる。 ・食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 思考・判断・表現 ・食品の選択について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、考察したことを論理的に表現している。 ・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定している。実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりし、考察したことを論理的に表現している。</p>	
3 学期	<p>5 地域の食文化(6) ・地域の食文化 ・郷土料理調べ ・献立作成 ステップ2 ・持続可能な食生活</p> <p>生活の課題と実践(2)</p>	<p>知識・技能 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 ・1日分の献立を作成する方法について理解している。 思考・判断・表現 ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・1日分の献立を作成し、1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な食生活を目標として、課題とその解決方法について考え、工夫している。 思考・判断・表現 ・食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。</p>	

令和 8 年度 英語科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 指定教科書

英語	1 年	教科書名 (出版社)	Here We GO! ENGLISH COURSE1 (光村図書)
		副教材	JOUFUL WORK (新学社)・W プリント (新学社) パワーアップフォニックス (浜島書店) 英語マスターノート (明治図書)

3 学習到達目標

- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や話の概要、短い説明の要点を聞き取ることができる。
- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や短い文章の概要や要点を読み取ることができる。
- ・ 関心のある事柄について即興で伝え合ったり、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを伝え合ったりすることができる。
- ・ 関心のある事柄について即興で話したり、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを話したりすることができる。
- ・ 関心のある事柄について正確に書いたり、日常的な話題について、まとまりのある文章を書いたりすることができる。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

教科書をベースに「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の 4 技能 5 領域をバランスよく伸ばす活動を行う。

○タブレットの活用

デジタル教科書を活用したり、言語活動を行う際に、スライドやドキュメントなどの文書作成ソフトやプレゼンテーション作成ソフトを活用したりする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力をようする	20%以上
1 一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

主として話すこと [やり取り] や話すこと [発表] のパフォーマンステストを行う。

○単元テストについて

各 Unit が終わったタイミングで行う。

○その他のポイント

基本的に主体的に学習に取り組む態度は思考・判断・表現と一体的に評価し、振り返りシート等の記述内容や授業中の言語活動への取組の様子を加味する。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1学期	Let's Be Friends! (10)	知識・技能 ・小学校で既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自己紹介したりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしている。 ・クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	知識・技能 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト 思考・判断・表現 定期考査 単元テスト
	Unit 1 Here We Go! (11)	知識・技能 ・I am ~. I (don't) like ~. I can/can't ~. の文について理解するとともに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自分の情報を書いたりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取っている。 ・自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を正確に書いている。	パフォーマンステスト リスニングテスト 主体的に学習に取り組む態度 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト
	Unit 2 Club Activities (11)	知識・技能 ・Are you ~? Do you ~? Can you ~? の文について理解するとともに、部活動などについて実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知るために、やり取りから、必要な情報を聞き取っている。 ・自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねている。	パフォーマンステスト リスニングテスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 思考・判断・表現と一体的に評価する。
	World Tour 1 世界の中学生 (1)	知識・技能 ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、学校生活について紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・世界の中学生について知るために、その人の学校生活などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	
	Unit 3 Enjoy the Summer (11)	知識・技能 ・What do you ~? の文、動詞の-ing 形、want to ~ の表現について理解するとともに、夏休みについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・Ms. Thusi のことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えている。 ・Ms. Thusi が知りたいことに応えるために、夏休みにすることなどについて、その場で話している。	
	Let's Read 1 What am I? (1)	知識・技能 ・動作を表す語句の意味や、I (don't) like ~. / I can [can't] ~. の意味や働きなどを理解するとともに、クイズの内容を読み取る技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・クイズの答えを知るために、回答の手がかりが書かれた文章から、必要な情報を読み取っている。	
	Active Grammar 1 (2)	知識 ・am, are, 一般動詞、can を使った文を理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	You Can Do It! 1 (3)	知識・技能 ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、自分や相手のことについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取っている。 ・お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしている。	

2学期	Unit4 Our New Friend (12)	<p>知識・技能 3人称単数を主語とする be 動詞の文、Who 's ~?、Is this [he / she] ...?の文を理解するとともに、身近な人物について、説明の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現 ・話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取っている。 ・ALT に他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表している。</p>	<p>知識・技能 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト</p> <p>思考・判断・表現 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト</p>
	Daily Life 1 落とし物 (1)	<p>知識・技能 ・whose で始まる疑問文や「~のもの」という言い方について理解するとともに、落とし物の持ち主についてやり取りをする技能を身につけている。</p>	<p>パフォーマンステスト リスニングテスト</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>
	Active Grammar 2 (1)	<p>知識・技能 ・人称代名詞や指示代名詞の使い方を理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。</p>	<p>定期考査 単元テスト パフォーマンステスト</p>
	Unit5 Hi, David! (12)	<p>知識・技能 ・命令文、Where ~?、When ~? の文を理解するとともに、観光プランについてのチャットのやり取りの内容を読み取ったり、おすすめの場所についてたずねたり伝えたりする技能を身につけている。</p> <p><思考・判断・表現> ・観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取っている。 ・おすすめの観光プランを考えるために、ALT の行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしている。</p>	<p>授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 思考・判断・表現と一体的に評価する。</p>
	Daily Life 2 注文 (2)	<p>知識・技能 ・Can I have ~?や I 'd like ~, please.を使った注文のしかた、How much ~?や How many ~?を使った金額や数のたずね方など、買い物や注文特有の表現について理解するとともに、買い物や注文のやり取りをする技能を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現 ・屋台のメニュー表を見て自分が食べたい物を買うために、注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしている。</p>	
	Unit 6 Cheer up, Tina (13)	<p>知識・技能 ・3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文について理解するとともに、身近な人についての紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現 ・登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えている。 ・友達のすてきなところを ALT に伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書いている。</p>	
	Daily Life 3 バス停 (2)	<p>知識・技能 ・What time ~?を使った時刻の尋ね方や時刻の言い方を理解するとともに、時刻についてやり取りする技能を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現 ・バス停で困っている観光客を助けるために、相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしている。</p>	
	Active Grammar 3 (1)	<p>知識・技能 ・主語が3人称単数のときの be 動詞と一般動詞の使い方を理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。</p>	
	Daily Life 4 道案内 (2)	<p>知識・技能 ・How ~?を使った行き方の尋ね方や、How long does it take ~?を使った所要時間のたずね方など、道案内特有の表現について理解するとともに、道案内のやり取りをする技能を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現 ・海外からの観光客に伝わるように、目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしている。</p>	

	Active Grammar 4 (1)	知識・技能 ・疑問詞を使ったいろいろな疑問文について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	You Can Do It! 2 (3)	知識・技能 ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、ゲストを迎える人物についての紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えている。 ・ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書いている。	
3学期	Unit 7 The New Year in Japan (12)	知識・技能 ・一般動詞や be 動詞の過去形の文について理解するとともに、冬休みの様子などについて書かれたはがきの内容を読み取ったり、冬休みの様子を書いたりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えている。 ・冬休みの様子を David に伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書いている。	知識・技能 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト 思考・判断・表現 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Active Grammar 5 (1)	知識 ・動詞の過去形について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	パフォーマンステスト リスニングテスト
	Daily Life 5 イベントの案内 (3)	知識・技能 ・日付や場所、金額の表す表現や語句、助動詞 can や命令形の意味や働きなどを理解するとともに、イベントの案内を読み取る技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取っている。	主体的に学習に取り組む態度 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Unit 8 Getting Ready for the Party (12)	知識・技能 ・現在進行形や過去進行形の文について理解するとともに、誕生日パーティーの場面の様子についての説明の内容を聞き取ったり、説明したりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えている。 ・登場人物や誕生日パーティーの様子を Grandpa に伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明している。	
	World Tour2 世界の中学生 (1)	知識・技能 ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、1 日の過ごし方について紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・世界の中学生について知るために、その人の 1 日の過ごし方などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	
	Active Grammar 6 (1)	知識・技能 ・現在進行形や過去進行形について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	Let's Read 2 The Lion and the Mouse (4)	知識・技能 ・時を表す語句、一般動詞の過去形、助動詞 can などの意味や働きを理解するとともに、物語の内容を読み取る技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・読むことの楽しみを味わうために、物語を読み、あらすじを捉えている。	
	You Can Do It! 3 (3)	知識・技能 ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、学校紹介の内容を聞き取ったり、学校を紹介したりする技能を身につけている。 思考・判断・表現 ・イギリスに住む Lizzy の学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。 ・Lizzy に自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介している。	